

令和 2 年 1 月 23 日

中国で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に対する透析施設での対応について

#### 1. はじめに

2003 年に重症急性呼吸器症候群 (SARS) が世界的に流行して、8,000 人以上の患者と 700 人以上の死亡者を出した。

2020 年 1 月に、中国は湖北省武漢市から報告された原因不明の肺炎患者について、新型コロナウイルス (Novel Coronavirus: nCoV) が関連していると発表した。春節が近づいており、中国からの旅行透析患者が増加する可能性があり、スクリーニングや感染対策が重要となる。

#### 2. nCoV 関連肺炎の疑いがある患者へのスクリーニング

発熱または呼吸器症状を訴える患者に対して以下の有無を確認する。

- ① nCoV の患者またはその疑いがある患者との接触がある。
- ② 武漢市から訪日しているか、武漢市への渡航歴がある。
- ③ 「武漢市から訪日しているか、武漢市への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人」との接触がある。

#### 3. nCoV 関連肺炎の疑いがある患者とは

①かつ②を満たす場合を「疑い患者」とする。

- ① 37.5 度以上の発熱かつ呼吸器症状を有している。
- ② 発症から 2 週間以内に以下の曝露歴のいずれかを満たす場合とする。
  - nCoV 患者またはその疑いがある患者と必要な感染予防策なしで 2 メートル以内での接触歴がある。
  - 武漢市から訪日しているか、武漢市への渡航歴がある。
  - 「武漢市から訪日しているか、武漢市への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人」との接触がある。

#### 4. nCoV 関連肺炎の疑い患者に対する感染対策

急性呼吸器感染症疑い患者の診察時および透析を行う場合には、標準予防策に加えて接触感染と飛沫予防策を行う必要がある。

- ① 患者にはサージカルマスクを装着させる。
- ② 診察および透析を行う場合には個室が望ましい。個室透析が不可能な場合には、飛沫距離を十分に考慮したベッド間隔 (2m 以上) を確保する空間的隔離か、時間的に他の患者と接触しない対策を確保する時間的隔離を行う。
- ③ 診察室および透析施行に際しては十分な換気を行う。

- ④ 医療者が診察や透析を行う場合には、個人防護具 (Personal Protective Equipment; PPE)、ディスポーザブルガウン、サージカルマスク、ゴーグルまたはフェイスシールドを着用する。
- ⑤ 透析後の清掃および消毒は、肝炎ウイルスに使用している中水準消毒で対応する。

※標準予防策、PPE、接触感染および飛沫感染、環境の清掃および消毒の詳細は、「**透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(四訂版)**」を参照。

## 5. おわりに

nCoV 関連肺炎を疑い患者には、インフルエンザなどの一般的な呼吸器感染症の除外診断を行い、nCoV 関連肺炎が強く疑われる場合には当該医療機関を所管する保健所に報告する。